

日本鉄鋼協会記事

理事会

第3回評議員会、第6回理事会 開催日：2月15日。

出席者：石原会長，ほか60名。

1. 昭和59年度事業報告，収支決算ならびに財産目録，昭和60年度事業計画，収支予算の件

本件は会計分科会，企画委員会の審議を経ており事業と会計に分けて説明があつた。一般会計，別途資金会計，特別会計，いずれも原案通り承認された。

2. 次期理事，監事ならびに評議員推薦の件

次期役員選考委員会において選考された原案を審議し原案通り承認した。

3. 名誉会員推挙の件

H. W. Paxton 君，H. J. Engell 君，Wei Shoukun 君，橋本宇一君，松下幸雄君の5名を今春の通常総会で名誉会員に推挙することを決定した。

企画委員会

第8回委員会 開催日：2月13日。出席者：濤崎委員長，ほか17名。

1. 創立70周年記念事業について

(1) 学生研究発表講演会検討小委員会で標記講演会の検討を行い答申を受けた。学部の卒業論文を対象とし，1日50件程度の規模とする。開催時期は昭和61年3月中旬を予定。

(2) 研究所，製鉄所見学会について

1月29日にWGを開催し，関東（本部）地区での見学会の要領をまとめた。部門別に4コースを設定し，本年度は新日本製鉄（君津・第一技研），日本鋼管（京浜・中研）が引受けることとなつた。開催日は11月初旬を予定する。なお2月15日各支部への説明会を開催し，他地域でも同様の見学会を計画するよう検討することになつた。

編集委員会

第6回編集運営委員会 開催日：2月15日。出席者：宮川委員長，ほか16名。

1. 第48回俵論文賞の選考を行つた。候補として推薦された論文39件を対象に検討し，5件を受賞論文として選出した。

第11回和文誌分科会 開催日：2月8日。出席者：宮川主査，ほか24名。

1. 23件の論文審査報告がなされ，掲載決定16件，照会后掲載可3件，修正依頼2件，その他2件であつた。

2. 「鉄と鋼」第71年第8号（6月号）に論文10件，技術報告3件掲載決定した。

第11回欧文誌分科会 開催日：2月1日。出席者：大森主査，ほか14名。

1. 12件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可2

件，照会后掲載可1件，修正依頼8件，返却1件であつた。

共同研究会

第2回共同研究会運営委員会 開催日：1月22日。出席者：石原会長，ほか27名。

昭和59年度第2回総務幹事会議事録の報告，59年度共同研究会上期予算使用実績報告，60年度予算案審議，鑄型分科会終了報告，鉄鋼分析部会組織の見直しについてならびに各部会，分科会で検討いただいた産学連携，分科会から部会への昇格問題，部会長の交替について審議いただいた。産学連携，部会への昇格，部会長の交替については，従来通りの運営とすることとした。

第6回原子力部会技術小委員会 開催日：2月6日。出席者：鶴岡委員長，ほか7名。

1. 高温ガス炉の開発動向
2. NIS プロセス装置材料試験工報告
3. 溶融還元製鉄法開発の現状と今後の課題

特定基礎研究会

第6回石炭のコークス化特性部会 開催日：2月14日。出席者：木村部会長，ほか62名。

1. 研究報告

7名の研究委員より以下のテーマにつき研究報告がなされた。

- (1) コークス化機構の基礎研究
- (2) 一般炭のキャラクタリゼーション
- (3) コークス破壊機構の解明

第11回鋼材の表面物性に関する基礎研究部会 開催日：2月14日。出席者：久松部会長，ほか20名。

1. 昭和59年度研究概要報告

2. 部会報告書編集方針の検討

3. 特別講演

- (1) 「合金のスパッタ放出の角度分布と表面偏析」
……電総研 清水 肇
- (2) 「塗装した亜鉛メッキ鋼板の腐食環境との反応」
……新日鉄・第二技研 三吉康彦

高温強度研究委員会

第10回切欠き効果試験分科会 開催日：1月30日。出席者：大南主査，ほか20名。

1. 講演「高温低サイクル疲労におよぼす切欠き効果」
2. 今後の分科会の進め方について

第 55 回材料研究委員会

開催日：2月15日。出席者：大橋委員長，ほか 12 名。

「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」について各社で行っている研究のまとめ案を提出いただき検討を行った。委員会としては5月中旬までに原稿を完成させ、委員会報告を出版する予定であり、鉄と鋼にも同時にまとめを報告することとした。

鉄鋼技術情報センター

第 21 回センター運営委員会

開催日：1月25日。出席者：染野委員長，ほか 13 名。

1. 第9回センター共同研究会 報告
2. センター編集委，情報検索委，図書資料委 報告
3. 図書室来室者数，収集物件数，端末機利用状況，JICST 受託作業状況 報告
4. 昭和 59 年度3月～12 月センター収支実績について
5. 昭和 60 年度センター収支予算(案)について
6. その他，1) 鉄鋼協会 70 周年事業計画状況，2) VDEh からの技術情報センター事業の紹介

情報検索委員会 第 27 回幹事会

開催日：1月21日。出席者：加畑委員，ほか 9 名。

1. 『第2回 IR 研究会報告書のまとめ』の検討
2. 講演会の検討
“海外の物性データについて” (仮題)
3. 見学会の検討
3月 野村総研の予定

鉄鋼基礎共同研究会

第4回高純度鋼部会 開催日：1月31日。出席者：木村部会長，ほか 29 名。開催地：住金・東京本社。

1. 各委員よりの発表
(1) 純鉄および低炭素鋼の回復，再結晶，集合組織におよぼす C, N の影響 (東 大)

(2) ステンレス鋼すきま腐食における材料問題 (東 大)

(3) 鉄鋼の高温酸化物の形態と物性に及ぼす微量元素の影響 (東 大)

(4) HSLA 鋼の変態挙動に及ぼす不純物元素の影響 (川 鉄)

(5) 転動疲労強度に及ぼす非金属介在物の影響 (山 特)

(6) 工具鋼における特性と不純元素 (日立金)

2. 今後の部会の進め方について

第 19 回融体精錬反応部会 開催日：1月21日。出席者：森部会長，ほか 27 名。開催地：鋼管・高輪クラブ。

1. 研究発表 計 5 件
(1) スラッグ-熔融金属間反応系の物質移動速度に及ぼすガス吹込み攪拌の影響
(2) 液体金属中への吹込みガスの分散挙動と気液混相の流動
(3) 酸化鉄系スラッグへの石灰の飽和溶解度に及ぼす P_2O_5 の影響および溶鋼-石灰飽和スラッグ間のリンの分配について
(4) 石灰系フラックスによる溶鉄予備処理の最適化
(5) 連続溶解還元炉の還元特性 (補遺)
2. 部会報告書発行計画について
3. その他

第 10 回鉄鋼の環境強度部会

開催日：2月6日。出席者：駒井部会長，ほか 26 名。

開催地：住金・大阪住友クラブ

当部会では共通試験を実施しすでにかんがりのデータが提出されている。これらデータの解析を行うため作業グループを設け作業を進めることとした。又 60 年度の部会の運営スケジュールが部会長より提案され承認された。本年は通常部会 (4 回開催) 以外に前記共通試験の解析結果を中心にして 11 月 21 日にシンポジウムを開催する予定である。このほかに共通試験データの報告を各機関より行い，活発に議題を行った。

訂 正

論文 「 Li_2 金属間化合物の強さの結晶粒度依存性」 (鉄と鋼, 70 (1984) 15, p. 1870)

p. 1876, Fig. 10 下, 本文の一部を次のとおり訂正させていただきます。

(誤)

Ni_3Al 中の Ni の拡散に対する活性化エネルギーを HANCOCK⁶⁰⁾ は 26.1 kJ/mol と, また Ni_3Al におけるクリープの活性化エネルギーを FLINN⁶¹⁾ は 28.0 kJ/mol, ROWLINGS⁶²⁾ は 7.2 kJ/mol と報告している。

(正)

Ni_3Al 中の Ni の拡散に対する活性化エネルギーを HANCOCK⁶⁰⁾ は 303 kJ/mol と, また Ni_3Al におけるクリープの活性化エネルギーを FLINN⁶¹⁾ は 325 kJ/mol, ROWLINGS⁶²⁾ は 315 kJ/mol と報告している。